

担当医の紹介



細木 信吾 (ほそぎ しんご)

専門資格／日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会循環器専門医

日本心血管インターベンション治療学会専門医

『胸の痛みや圧迫される感じ』の原因となる狭心症・心筋梗塞、『ふらつき』や『動悸』を生じる不整脈、『むくみ』や『息切れ』を訴える心不全・弁膜症、『お腹の拍動』や『背部痛』で発見される大動脈疾患、『歩いた時の足の痛み・疲れ』を自覚する末梢動脈疾患から、これらの病気を引き起こす高血圧、脂質異常症等の治療を担当します。特に心臓カテーテル治療(心臓や足の血管の詰まりを2mm程度の細い管で治す患者さんに優しい治療)を専門としています。患者さんに最も合った治療法と一緒に考えます。気になる症状のある方はお気軽にご相談ください。



宮地 剛 (みやじ つよし)

専門資格／日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会循環器専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定医

循環器内科を専門としています。狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、心不全、弁膜症、不整脈、末梢動脈疾患など循環器疾患全般の他、一般的な内科疾患の診療も行います。特に循環器疾患は命にかかわる疾患が多くあります。気になる症状がある方は早めにご相談ください。



古川 敦子 (ふるかわ あつこ)

専門資格／日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会循環器専門医

日本超音波医学会超音波専門医

日本心血管インターベンション治療学会認定医

循環器内科を担当させていただきます。特に心不全や弁膜症などの心臓超音波診断を専門としており、外科手術やカテーテル治療、薬物治療など治療方法の選択肢を患者様やご家族のご希望も尊重しながら適切かつ丁寧にご提案させていただけるよう心掛けて頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【新設のご案内】

心臓カテーテル治療と心臓リハビリの専門センター

社会医療法人仁生会 細木病院

『ほそぎハートセンター』

2020年5月下旬 開設準備中

H O S O G I
H E A R T
C E N T E R



社会医療法人仁生会 細木病院

〒780-8535 高知県高知市大膳町37

TEL.088-822-7211 FAX.088-825-0909

[E-mail] info@hosogi-hospital.jp

[URL] <https://hosogi-hospital.jp/>



令和2年3月作成



ほそぎハートセンター開設のご挨拶

高知県では、心臓病の入院患者数が最も多く、今後も増えると予測されています。さらに再発率が高いため、患者さんは病気と長く付き合っていかなければなりません。今、心臓病を持つ患者さんに対する予防や治療を含んだ多方面からの総合的な医療が必要になっています。こうした状況を踏まえ、細木病院では、心臓専門施設『ほそぎハートセンター』（総床面積180㎡、2階建て、1Fに心臓リハビリテーション室、2Fに心臓カテーテル室）の新設を決定、令和2年5月の開設を予定しています。

『ほそぎハートセンター』では、これまでの非侵襲的な心臓検査（心電図、心エコー、心臓CT）に加え、心臓病のカテーテル検査と治療（冠動脈造影や冠動脈カテーテルインターベンション、下肢等の末梢動脈に対する経皮的血管形成術、不整脈に対するカテーテルアブレーション、恒久的ペースメーカ移植術）を行います。さらに、心臓リハビリテーションを外来・入院の患者さんに広く導入し、心臓病を運動・栄養・薬剤・メンタル等の多方面から総合的・包括的に管理することで患者さんの側に立った予防医療を行い、地域の皆さんの健康寿命の延伸、QOL（生活の質）の改善に取り組みます。

当院は、70有余年にわたり、高知市西部地域で地域密着型の診療を行っています。心臓病についても、『ほそぎハートセンター』を通して、より深く地域に密着した医療を展開することで長く地域に貢献すべく、スタッフ一同誠心誠意取り組んでまいります。皆様の『ほそぎハートセンター』のご周知、ご利用、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

社会医療法人仁生会 細木病院
ほそぎハートセンター
センター長 細木 信吾



診療のご案内

〈1階〉心臓リハビリテーションセンター

【概要・特色】

- 心臓リハビリ専任の医師、看護師、理学療法士などによる患者さんに最適な運動処方、学習活動、生活指導、カウンセリングを通じて、快適な家庭生活、社会復帰、心臓病再発予防をサポートします。

【主な設備】

- 心肺運動負荷試験(CPX)、自転車エルゴメーター、セントラルモニター心電図、レッドコード、診察室など

〈2階〉心臓カテーテル検査室

【概要・特色】

- 心臓カテーテル検査室2室、ICルーム・処置室、カンファレンスルームなどを備えます。
- 検査室の窓には、患者さんのプライバシーに配慮した電動遮光ガラスを使用します。

【主な設備】

- フィリップス社製血管撮影装置Azurion7 B12/12(2方向からの同時撮影が可能な低線量、低被爆を可能にした最新機器)
- DVXライブ配信システム(検査室以外の場所で血管造影画像のリアルタイム閲覧が可能となり情報の共有ができるシステム)

